

令和4年度 静岡県立沼津聴覚特別支援学校 グランドデザイン

静岡県の教育の基本方針

静岡県総合計画

富国・有徳の「美しいふじのくに」づくり

ふじのくに「有徳の人」づくり大綱

静岡県教育振興基本計画

「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

・未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

・社会総がかりで取り組む教育の実現

静岡県特別支援学校における教育推進

一人一人の豊かな人生の実現を目指し、
持てる力を最大限に伸ばす特別支援教育の充実

・共生社会の実現を目指す「共生・共育」の充実

・自立と社会参加に向けた開かれた学校づくり

・一人一人の確かな学びにつながる指導の充実

・命と人権を守る学校

目指す
子ども像

- ・自らの障害を理解し、持てる力を伸ばそうと努力し、自立と社会参加に向かう子
- ・心身ともに健康で、互いを認めあえる子
- ・学びを楽しみ、自らの学びにつなげていける子

聴覚障害教育を取り巻く社会状況

- 1 在籍幼児児童生徒数の減少
- 2 聴覚障害教育の専門性への不安
- 3 日常的な手話使用場面の減少と教職員の手話への意識低下
- 4 教育環境
- 5 多様な価値観
- 6 精神的な不安定さを抱える児童生徒の増加
- 7 新しい課題への対応と従前との相違による混乱
- 8 寄宿舎生減少と視覚生の入舎対応
- 9 R10全日聾研静岡大会への準備
- 10 多様な進路選択への対応

目指す学校像(学校あいことば)

笑顔 通じ合い つなげる学び

自分の障害や特性を理解し、自己肯定感を高めると共に、明るく思いやりのある柔軟な心と、たくましく健康な身体を培う。	交流や生活経験等とおして人の考え方や多様性を認め、日本語力、手話力、コミュニケーション力を高める。	連続した学びの中で、他の学びと関連づけたり他の学びに生かしたりしながら、社会自立につながる「生きる力」を身につける。
--	---	--

学校教育
目標

自己の障害を理解し、主体的な確かな学びをとおして、情操豊かで自ら社会に参画しようとする子どもを育成する

育てたい力

障害観

障害対応力

自己肯定感

共生力

知識・技能

発信力

課題解決力

生活力

目標具現化の柱

魅力ある学校づくりプロジェクト

聴覚障害教育の専門性に基づく学習による学力向上

安全安心で、信頼され選ばれる学校

令和4年度の具体的な取り組み項目

・学校全体で取り組む「魅力ある学校づくりプロジェクト」により、教職員自身が学校の魅力を再確認し、地域に対して具体的な魅力を積極的に発信し続ける

・聴覚障害教育の専門性の向上を図り、その専門性に基づく効果的な「つなげる学び、広げる学び」による学力向上（授業改善、ICT活用の推進）

・社会自立に向けた、生活力や社会性を育てる教育の充実（共生・共育、キャリア教育、地域との連携協働、開かれた寄宿舎）

・自己肯定感を高め、自らの命と健康を守る、人権教育・安全教育の推進
・聴覚障害教育における地域のセンター的役割の積極的な発揮